

神戸大学 自治体・企業との 連携事業一覧

地域連携推進本部
2024年5月28日現在
(文責：松下正和)

兵庫県との連携事業



神戸大学－兵庫県 地域課題への取組み



- ・地域医療の連携（寄附）講座 **6件** ⇒ 全県域での医師不足解決へ
- ・県の専門委員会への委員派遣 **50人** ⇒ 地域課題に取り組む県政を支援
- ・県外からの入学者 **1900人** (入学者の64.5%) ⇒ 若者による地域活性化
- ・県内就職者 **157人** ⇒ 地域経済と地域社会の担い手を育成

連携拠点でのさまざまな取組み

地域連携推進本部での学生
ボランティア支援



起業プラザひょうごでの
アントレプレナー講座



医学部附属地域医療活性化センター（兵庫県地
域医療支援センター併設）での医療人材育成





神戸大学×兵庫県 地域課題への取り組み



- ・ 2010年8月2日 **全学協定締結**
- ・ (目的) 地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与

連携拠点でのさまざまな取り組み

- ・ 人文学研究科と兵庫県教育委員会社会教育課文化財室、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立考古博物館の4者が、地域歴史文化を担う人材の育成に関する共同事業(2011～)
- ・ 人間発達環境学研究科・発達科学部が兵庫県立美術館と双方の持つ資源を活用し、芸術の振興を図るとともに、地域社会に貢献できる人材を育成(2009～)
- ・ 経済学研究科と地域における政策統計に関する調査・研究及びその成果普及のための連携協力(2009～)
- ・ 兵庫県と共同して医療行政の研究を実施し、地域医療に貢献(2009～)
- ・ 兵庫県病院局と医学研究科・医学部附属病院の相互協力による、医学及び医療における研究、教育及び診療への参画、高度専門医の養成(2008～)
- ・ まちづくり担当部と、県下の市町や県民が取り組むまちづくり、文化及び学術の分野で連携し、地域の歴史的資源の活用、優れた景観の形成等を通じたまちづくりに関する調査・研究(2005～)

取纏部局	代表者	プロジェクト名称
人間発達環境学研究科・発達科学部	津田 英二	(兵庫県)学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業(地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築)
医学研究科・医学部医学科	南 康博	健康・医療データを活用したデジタルイノベーション支援事業
医学研究科・医学部医学科	岡山 雅信	地域医療マインドの向上を図るための人材育成事業
医学研究科・医学部医学科	眞庭 謙昌	疾病別医療需給分析・展開業務委託事業
医学研究科・医学部医学科	眞庭 謙昌	国保世代からはじめる骨折・骨粗鬆症予防事業
医学部附属病院	眞庭 謙昌	地域医療人材キャリア支援事業
医学部附属病院	眞庭 謙昌	新型コロナワクチン副反応等医療体制確保業務
医学部附属病院	眞庭 謙昌	地域医療活性化・地域医療人材育成事業
医学部附属病院	医学部附属病院長	兵庫県てんかん地域診療連携体制整備事業
医学部附属病院	医学部附属病院長	兵庫県移行期医療支援体制整備事業
医学部附属病院	医学部附属病院長	周産期医療人材育成・体制強化事業

神戸市との連携



神戸大学×神戸市 地域課題への取り組み



- 2013年5月24日 **全学協定締結**
- (目的) 地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与

連携拠点でのさまざまな取り組み

医療産業都市での神戸未来医療構想



ふるさと納税による「未来の神戸づくりに向けた大学等応援助成制度」の活用
3,020,800円
(2023年度受入額)



大学発アーバンイノベーション神戸
(若手研究者の研究活動経費助成制度)
大学発アーバンイノベーション神戸
University's Urban Innovation Kobe
計42,771千円 (2023年度)



▲成果報告会 (2023/2/9@六甲ホール)



(一社) 大学都市神戸産官学プラットフォームの設立
(2023/11/10)



役職	
代表理事	高土 薫 (神戸新聞社相談役)
副代表理事	藤澤 正人 (神戸大学学長)
副代表理事	中村 恵 (神戸学院大学学長)
副代表理事	中井伊都子 (甲南大学学長)
副代表理事	田中 恒 (神戸市外国語大学学長)
理事	高坂 誠 (兵庫県立大学学長)
理事	辻 英之 (神戸市企画調整局長)
監事	清名 篤 (関西国際大学学長)



神戸大学×神戸市経済観光局 地域課題への取り組み



- 2023年5月24日 **経済学研究科**と協定締結
- (目的) 相互に緊密な連携及び協力を図り、双方の保有する資源を有効活用することにより、市施策立案における経済学的知見の反映と学術研究の進展を通じて、地域経済の発展に資すること

連携拠点でのさまざまな取り組み



(左) 宮尾龍蔵 経済学研究科長
(右) 大畑公平 神戸市経済観光局長

本協定に基づいて取り組む内容は、(1) 施策の企画立案・検証に関する事項、(2) データ利活用の推進に関する事項、(3) 人材の育成に関する事項、(4) その他、本協定の目的遂行上必要な事項、です。

神戸市の政策課題、実施施策等に関して、経済観光局との意見交換会の開催、大学人材の活用による「経済学的視点からの助言・相談」等、具体的な連携内容を設定し、連携の充実を図ります。





神戸大学×灘区 地域課題への取り組み



- 2004年12月2日 **全学協定締結**
- (目的) 地域福祉向上、産業振興、教育・文化・スポーツの振興及び発展、人材育成、まちづくりのための連携

連携拠点でのさまざまな取り組み

団地再生プロジェクト（鶴甲団地）
神戸大学×公社 リノベ住宅



子育て支援施設「**のびやかスペース あーち**」（人間発達環境学研究科）



灘★こども塾への協力（2023/3/27）
「江戸時代のくずし字読解にチャレンジ！」



大学と連携したまちづくりチャレンジ事業補助金（R5年度採択分、計1,056千円）

申請状況（まちづくりチャレンジ）		(円)		
No	申請代表者	補助事業の名称	採択結果	採択額
1	灘地域活動センター（N.A.C） 代表 山品 俊介	灘区内の災害復興住宅の集会所におけるふれあい喫茶の運営、戸別訪問活動	採択	235,000
2	障害のある青年の生涯学習支援会 （ふぉーえす）代表 森 海咲	「女子会+」「よる・あーち合宿」	採択	126,000
3	まちプロジェクト実行委員会 代表 松森 梨佳子	まちプロジェクト'23	採択	280,000
4	神戸大学天文研究会 会長 平野 喬之	なだ星まつり	採択	100,000
5	神戸大学環境サークル「えこふる」 代表 小城戸 倫子	学童保育所での「環境かるた」を用いた出前授業	採択	50,000
6	神戸大学人間発達環境学研究科 教授 長ヶ原 誠	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト	採択	265,000

まちプロジェクト実行委員会

地域住民や学生から集めた不用品を利用したイベントを実施し、地域間や地域と学生の交流を図る





神戸大学×東灘区 地域課題への取り組み



- 2007年6月20日 **海事科学研究科**と協定締結
- (目的) 海事科学部の所在地である神戸市東灘区と連携し、それぞれの持つ人材や知識、情報などの資源を活用して相互に協力することにより、人材育成と地域活性化に寄与する

連携拠点でのさまざまな取り組み



海神丸お披露目式

こどもいろいろ体験スクール
防災意識向上イベント



海神丸の機能として災害時の活動支援があることを、東灘区在住者に積極的にPR



神戸大学海事博物館夏休みワークショップ 船のおもてなし～花毛布とタオルアニマルをつくろう～ (2023/8/4)

県立尼崎小田高等学校
サイエンスリサーチ科生徒研修



附属練習船・海神丸の見学、海神丸の講義室で船長による講義、海洋観測についての体験学習、研究室見学を実施

神戸市海洋人材育成プログラム Ocean's 17 event



神戸市内の海洋産業に携わる団体と連携した高校生限定の体験型海洋イベント 第3弾の今回は、海洋政策科学部・神戸市・川崎重工業株式会社とが連携し、「SDGs 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに」をテーマに開催



神戸大学×須磨区 地域課題への取り組み



- 2008年1月9日 **保健学研究科**と協定締結
- (目的) 保健学研究科の所在地である神戸市須磨区と連携し、それぞれの持つ人材や知識、情報などの資源を活用して相互に協力することにより、人材育成と地域活性化に寄与する

連携拠点でのさまざまな取り組み

H19年度より、神戸市、須磨区と共同で、厚生労働省科学研究費補助金モデル事業である灘区「ぽっとらっく」と連携し、須磨区にある旧神戸市立大黒小学校跡「すまいるプラザ大黒」に新たな発達支援モデル教室「すまいる・ぽっとらっく」を開設
H22年度からは「青陽須磨支援学校」にて活動を行う



講習会プログラム

大学教員を中心とした研究者や指導者から、発達障害に関する様々なテーマについて講義を受けることができる



子どもプログラム

保健師、保育士、臨床心理士、作業療法士を目指す大学院生、学生、及び研修を目的とした若手保育士が、マン・ツー・マンで託児を行う

須磨地域高齢者との関わり 健康測定会

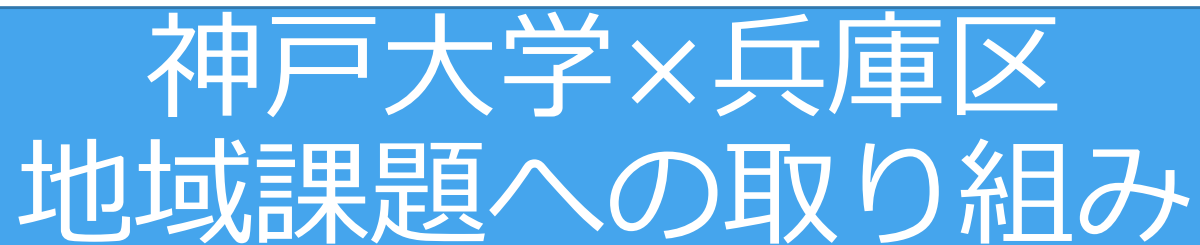


R3年度は、北須磨地区、神の谷地区、花谷地区、清水台地区、竜が台地区、多井畑東町地区、多井畑地区、南落合地区、菅の台地区計173名の参加を得た。
当日は経年的に測定している体組成、身体機能、生活習慣、認知機能、嚥下機能を測定した。

ふれあいスポーツチャレンジ 事業



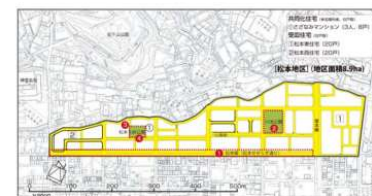
保健学研究科は、公益財団法人こうべ市民福祉振興協会とともに「運動を通じた障害者の居場所づくり」を目的とし、神戸市北区の「しあわせの村」において「のびのび運動ひろば」「水中運動ひろば」「中高生バラスポーツクラブ」の三つの教室を展開しました



都市安全研究センター・COC+事業
見て歩き会の開催

人文学研究科地域連携センターと、国土交通省神戸港湾事務所およびNPO法人「近畿みなとの達人」との連携事業は、2005年5月、神戸大学で開催された日本西洋史学会第55回に遡ります。この時、「神戸歴史舞台—西洋社会との出会い、震災と史料保存、そして未来—」と題する特別企画シンポジウムと関連展示会が催され、当センターや港湾事務所などの関係者が、いくつかの報告を行うと共に、共同して関連資料の展示を行いました。

それ以来、2006～07年度には、みなとまちづくり生涯学習講座やシンポジウム開催への協力（講師派遣等）、尼崎・神戸・兵庫・東神戸四港の「**みなとまち絵地図**」作成への協力等、様々な連携事業を行いました。



	創立者・代表者	所在地	特色
1 児童を育てる 教育の場としての 学校	校長 長谷川 昌 教員 山本 浩二 事務 山本 浩二 校長 山本 浩二 事務 山本 浩二 校長 山本 浩二 事務 山本 浩二	東京都中央区 千代田区 東京都中央区 千代田区 東京都中央区 千代田区	児童を育てる・教育の場としての 学校としての役割を重視 児童を育てる・教育の場としての 学校としての役割を重視
2 児童・生徒の 生活の場としての 学校	校長 山本 浩二 教員 山本 浩二 事務 山本 浩二 校長 山本 浩二 教員 山本 浩二 事務 山本 浩二	東京都中央区 千代田区 東京都中央区 千代田区 東京都中央区 千代田区	児童・生徒の生活の場としての 学校としての役割を重視 児童・生徒の生活の場としての 学校としての役割を重視
3 児童・生徒の 生活の場としての 学校	校長 山本 浩二 教員 山本 浩二 事務 山本 浩二 校長 山本 浩二 教員 山本 浩二 事務 山本 浩二	東京都中央区 千代田区 東京都中央区 千代田区 東京都中央区 千代田区	児童・生徒の生活の場としての 学校としての役割を重視 児童・生徒の生活の場としての 学校としての役割を重視
4 児童・生徒の 生活の場としての 学校	校長 山本 浩二 教員 山本 浩二 事務 山本 浩二 校長 山本 浩二 教員 山本 浩二 事務 山本 浩二	東京都中央区 千代田区 東京都中央区 千代田区 東京都中央区 千代田区	児童・生徒の生活の場としての 学校としての役割を重視 児童・生徒の生活の場としての 学校としての役割を重視

せせらぎの流れるまち
兵庫区松本地区の震災
復興十地区画整理事業



明舞団地は 1969 年に
入居開始

オールトニュータウンの再生 リノベーション



見て歩き会 THE EXTENSION

ひょうご・KOBE の 歴史、住宅、生活 ... 地元を歩きましょう

2018年6月8日(金) 参加無料・要交通費

第1部 兵庫区松本地区 9:00~11:00

9:00 集合 JR 兵庫駅 改札口出たところに集合 徒歩で松本地区へ

案内 神戸まちづくり研究所 辻信一さん

* 駅から現地まで歩き、震災後の事業、住民の取組みを伺います

第2部 明舞団地の再生 13:00～16:00

12:00 集会 朗舞団地中 松が丘ビル2階 (兵庫県明石市松が丘2-3-3)

13:00 集合 明舞団地区 松が丘ビル2階 (兵庫県明石市松が丘2-3-7)
 案内 兵庫県住宅供給公社明舞団地区生活課 榎本 幸一 氏

*再生取組のお話、地域を歩き、リノベーション住宅を見学します

主催 神戸大学都市安全研究センター

主催 神戸大学都市安全研究センター
神戸大学減災デザインセンター

共催 ひょうご神戸プラットフォーム協議会

図上 神戸市 web ページ <http://www.city.kobe.lg.jp/cache/ymg.jp/information/project/urban/kyuadmin/ymg/14-wabi-go-3matsumoto.ppt>

図 2 共通型 Web ページ https://web.prof.hyogo-u.ac.jp/k226/kitasamori/mairasi_matsukurakawakaku.pdf

人口高齢・減少社会の
先進モデル地区となるか

北後研究室 熊崎

TEL : 078-803-6440
FAX : 078-803-6394

FAX : 078-803-6394

100



神戸大学×長田区 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

兵庫の防災・地域連携フォーラム

～阪神・淡路大震災の経験を熊本地震被災者へ伝える～

平成 30 年 2 月 9 ～ 11 日の 3 日間、約 200 名参加の中、**地域の安心・安全と大学連携「伝え、学ぶ」**の 6 つの事業を実施しました。

今回は熊本地震被災地益城町住民とともに**阪神・淡路大震災被災地の神戸市長田区（9 日）**、淡路市旧北淡町（11 日）を歩き、地元住民、学生、教員らが災害前・後のコミュニティ形成について意見を交換しました。加えて、語り部による講話と 1995 年当時の様子を**震災アプリ（長田区）**を用いることで災害の記録、伝承の必要性を再認識しました。

10 日（土）午前には神戸親和女子大学 髯本格教授の案内で布引にて断層フィールドワークを実施し、目の前に聳える断層に自然との共生の必要性を学んだ後、**都市安全研究センターオープンゼミナールを開催**しました。益城町仮設団地連合自治会の吉村静代会長からは住民による避難所自主運営の大切さや仮設住宅での生活再建の様子が伝えられ、阪神・淡路大震災の経験がどのようにその後の災害に活かされたか学ぶと同時に今も続く様々な課題が議論されました。

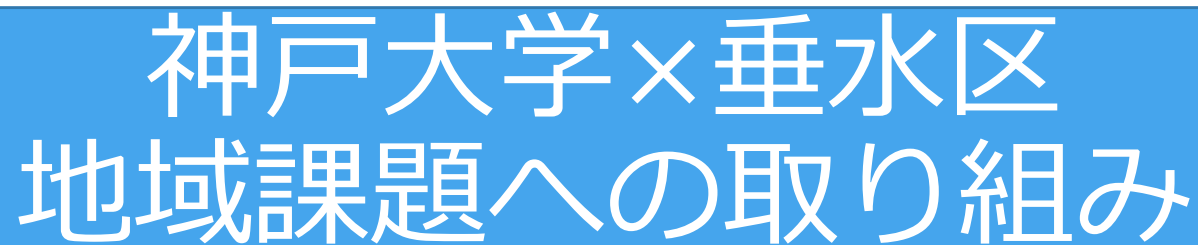
まとめに**北後明彦教授**より神戸大学の知見の共有と防災・減災の知見を得るため、兵庫の地域、被災地間の連携、協力団体による多様な取組の重要性が指摘されました。



長田のまちあるき



オープンゼミナール





神戸大学×北区 地域課題への取り組み



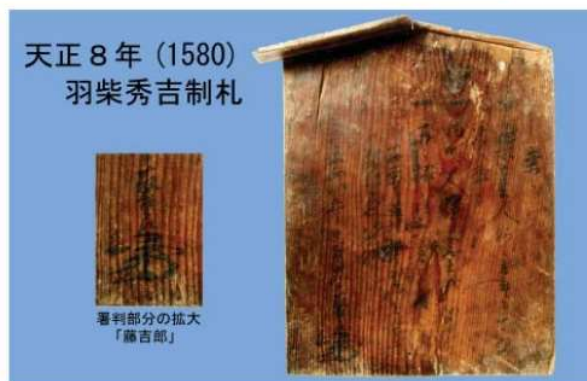
連携拠点でのさまざまな取り組み

神戸市指定文化財

さいた はし び で よし せい ぎ っ
歳田神社所蔵 羽柴秀吉制札



天正8年(1580)
羽柴秀吉制札



神戸大学文学部地域連携センター

- 人文学研究科地域連携センターによる淡河地区における事業
「淡河歴史セミナー」「淡河に関する史料調査」
「道の駅に制札解説パネル設置とパンフ配布」

2003年度から、**地元および神戸市との連携事業**をおこなっています。**淡河地区**では近年、淡河城跡の近くに道の駅ができたことで、淡河城をはじめ地域の歴史に対する関心が高まっており、この地域に関わる歴史について考え、またその成果を広く発信していくことを企図して、連携事業をおこなうことになりました

- 人文学研究科地域連携センターによる藍那地区における事業
「史料調査」「ため池の調査・研究」
「地元での研究報告会の実施」

2004年5月、国営明石海峡公園神戸地区（以下神戸地区。2012年度一部供用予定）の整備に伴う、**国土交通省近畿地方整備局国営明石海峡公園事務所からの受託研究事業**として始まりました。神戸地区は、神戸市北区山田町藍那地区の里山を園地に、「農業空間として維持されてきた豊かな里山を、守り育てながら身近な森としての活用を図る」という基本方針のもと、里山の自然・景観・歴史文化を活かした公園を目指して整備が進められています。

これを受けて、本事業では、**藍那地区、とりわけ里山の歴史的環境の変遷を明らかにするとともに、その成果に基づき、神戸地区における歴史的遺産の活用のあり方についての提案**を行うことを主たる目的として調査研究を進めてきました。



神戸大学×中央区 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

■神戸元町商店街連合会との連携事業

2009年10月頃、本学の経済学部の教員の紹介を通して、**神戸元町商店街連合会**（みなと元町タウン協議会・会長は奈良山喬一氏）から、元町商店街の言われや西国街道と関わりについて記す、歴史モニュメント設立への協力の依頼がありました。

人文学研究科地域連携センターではこれを受け、関係する研究スタッフや教員がモニュメントの文案作りに協力し、このほど「**西国街道モニュメント**」が完成・公開されました（2009年12月21日）。モニュメントの設置場所は、「こうべまちづくり会館前」（神戸市中央区元町通4丁目2-14）です。



モニュメントに記されている文章は以下の通り。

西国街道と元町商店街

元町商店街が広がる地域には、江戸時代、九州と近畿地方とを結ぶ西国街道が通っており、これはほぼ現在の「元町通り」に当たると考えられます。

その当時、この道沿いには、神戸村・二ツ茶屋村・走水村という村があり、このうち神戸村・二ツ茶屋村は、18世紀前半の享保期には、兵庫津よりも多くの廻船を保有するなど、北前船をはじめとする全国海運の拠点でもありました。また19世紀半ば頃にできた「兵庫津細見図」には、街道沿いに密集する町並みが描かれています。

慶応3年12月（1868年1月1日）、神戸が開港されました。しかし開港に際して、外国人居留地の建設が間に合わなかったため、居留地周辺の神戸村・二ツ茶屋村・走水村は雑居地となり、明治元年（1868年）11月には、3村は合併して神戸町と名付けられました。その後、明治7年（1874年）5月には、大阪・神戸間の鉄道の開通に合わせて、兵庫県令により、神戸町の西国街道にあった大手町・湊町・札場町・松屋町・中町・西町・城下町・東本町・西本町・八幡町が元町通と改称されました。

これが現在の元町商店街の名の言われとなります。

協力：神戸大学大学院 人文学研究科地域連携センター

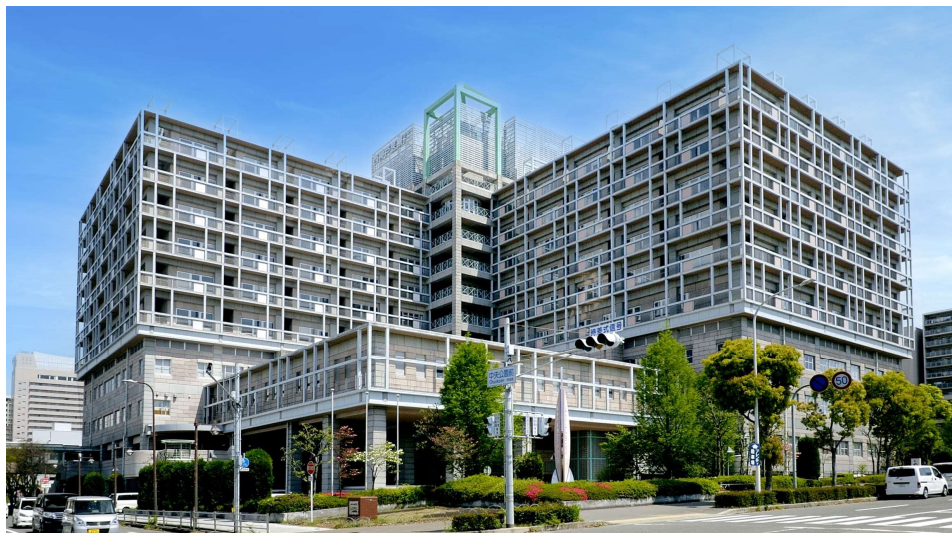


神戸大学×西区 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

神戸市立西神戸医療センター



R2年度大学発アーバンイノベーション神戸事業

人文学研究科・井上舞「神戸市域に所在する文書群の調査・活用・公開に関する研究」

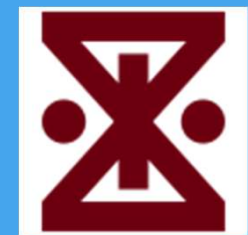
本研究では、神戸市が抱える諸課題やコロナ後の地域社会を見据えた、地域存続の基盤となる地域歴史文化継承のための実践的研究に取り組む。

具体的には、将来的に地域住民自身が地域歴史文化の担い手になってもらうことに重点を置き、①地域歴史文化の基礎となる地域歴史資料を保全すべく、神戸市北区をフィールドに、地域に所在する歴史資料の悉皆調査を実施する。②地域に残された歴史資料を用いて調査・研究に取り組み、神戸市の主要産業である酒造業や、近世以降大きく変化した中央区の景観に関する具体的な歴史像を提示する。③①・②を通して得られた学術的成果を、地域住民によりわかりやすく提示・共有する方法について検討し、神戸市の歴史文化発展へとつなげる。

阪神南地域での連携事業



神戸大学×尼崎市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み



バーチャル博物館
富松城歴史博物館
TOMATSUJYO MUSEUM OF HISTORY



富松城跡：兵庫県尼崎市富松町2丁目13

注：博物館は現在しません。

Copyright ©2003 Tomatsu History Museum. All Rights Reserved.
当ホームページのコンテンツの無断転載、複製などはご遠慮下さい

16世紀前半の畿内の戦乱について記述した軍記物『細川両家記』に数度にわたってあらわれ、戦国期の西摂地域における重要な軍事拠点であった**富松城**や**富松地域**について、広く発信することで、富松城跡の保存・活用を進めるため、富松城跡を活かすまちづくり委員会と**神戸大学文学部地域連携センター（当時）**、行政が連携して、インターネット上に仮想の博物館を作成（現在は閉鎖）

経済経営研究所では、共同研究等を通じて、地方自治体、地域企業、地域金融機関、地域支援団体などとの連携を図るため、R5年4月、**地域共創研究推進センター**を設立。地域連携活動の拠点として地域の金融機関や団体との共同研究を強力に推進

経済経営研究所と尼崎信用金庫は、R4年度より「ESG要素を考慮した事業性評価の深化を通じた地域における事業者支援体制構築の推進」に関する共同研究を実施

2023/5/24には神戸大学・尼崎信用金庫共同研究成果発表 神戸大学経済経営研究所 地域共創研究推進センター開設記念 公開シンポジウム「地域の持続的発展と金融機関の役割 — ESG地域金融の取り組み」が開催



尼崎市立歴史博物館での下張りはがし講座への協力
2017年度から**地域連携推進本部**特命准教授を派遣している

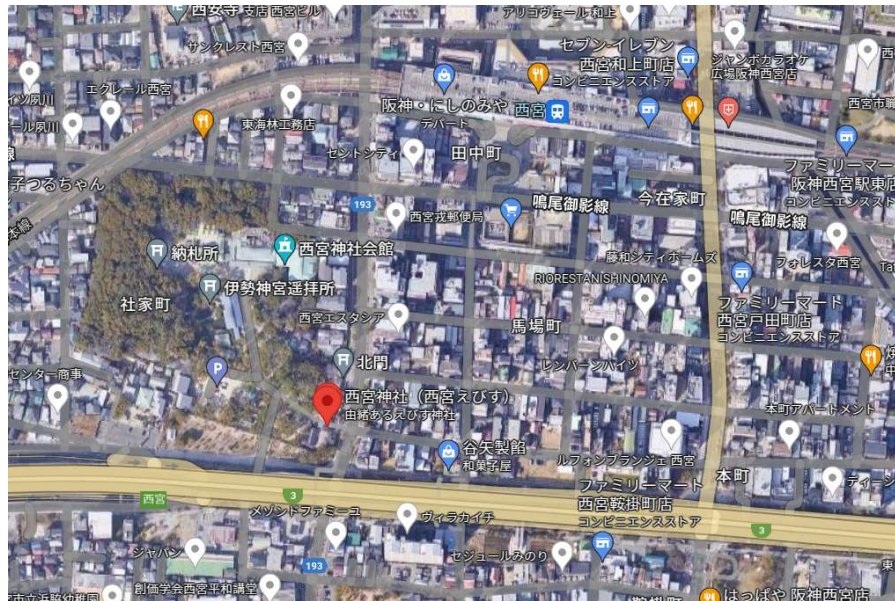


神戸大学×西宮市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

神戸大学保全生態学研究会「西宮市の天然記念物の学術調査と啓発活動」（学生地域アクションプラン採択事業）



学生が学術調査にもとづいた管理手法を提案するとともに、市民と行政・所有者の仲介役として自然観察会などの啓発活動を実施している

- 西宮市の天然記念物に指定されている社叢や樹木、湿地などについて生物学的な調査を行い、情報発信することによって、市民に天然記念物の価値を知ってもらうことで、**環境の保全と暮らしやすい社会を実現**することを目指す
- 生態調査は、**西宮市産業文化局および文化財保護委員**の指導のもと、**地域保全団体**と共同で行う
- 得られた知見を発信するため、市民観察会やシンポジウムを実施する



神戸大学×芦屋市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

兵庫県立芦屋高校との高大接続事業

【ボランティア部】 高大接続 事業 神戸大学

◎ 2018年7月20日 ▲ 芦屋高校

2018年度 高大接続事業 神戸大学 報告

1. 日時 2018年7月18日（水） 14:00～16:30

2. 場所 神戸大学 鶴甲第2キャンパス

3. 連携 神戸大学 国際人間科学部 原田和弘 准教授

4. 内容

14:00～15:00 【講義】

- ・大学学部選択や大学の仕組みについて
- ・神戸大学での専門・研究について
- ・神戸大学の高齢者研究、原田先生の研究について

15:10～16:00 【発表と質疑応答】

- ・芦屋高校ボランティア部の活動報告とシミュレーション発表
- ・今年度から始めた地域の高齢者宅への訪問の発表と質問
- ・原田先生から高齢者の心理や健康を考慮して回答いただく



16:00～16:30 【キャンパス内見学】
図書館・大講義室・研究室・障害者運営のカフェ等



高大接続事業で神戸大学を訪問し、まずは私たちの知らない大学の事、原田先生の紹介をしていただきました。原田先生の行なっている事の中で興味深かったものが「鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト」というものであまり繋がりなかった鶴甲の人がこのプロジェクトに約100人参加したと聞いて驚きました。11月には県政150周年のイベントがありますがどうすれば多くの人に参加していただけるかという課題はこれから必ず考えなければならぬことなので参考になりました。

芦高ボランティア部の活動報告、シミュレーション発表とお宅訪問の説明をした後は私達の質問に答えていただきました。質問の答えの中で印象深かったものは高齢者の方が話す話題への反応のポイントは受容、共感、傾聴ということです。私たちが反応に困るような話題でも話す方は話したくて話しているので敏感になりすぎず3つのポイントで会話しようと思いました。原田先生の鶴甲のプロジェクトを進めている時の話を聞いて、私たちのお宅訪問も全ての人が賛成して参加していただいているわけではありませんが大切な取り組みだと信じて進めて行きます。

原田先生の専門外の事も質問してしまいましたが、先生としてだけでなく子供の親としての目線で答えてくださってこれからプロジェクトを進めていく上で必要な事を聞けました。ありがとうございました。2年女子

芦屋市交通計画協議会への委員派遣
経営学研究科正司健一教授が就任

阪神北地域での連携事業



神戸大学×三田市 地域課題への取り組み



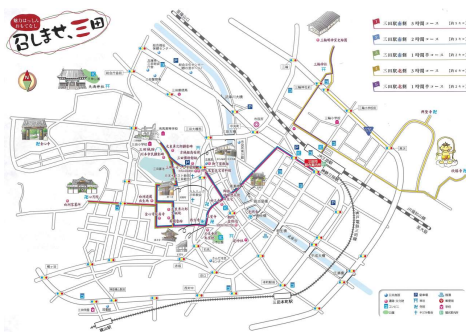
- 2021年7月19日 システム情報学
研究科と協定締結

- (目的) スマートシティに関する研究
・教育を推進し、システム情報の研
究の適用による三田市の地域課題の解
決を通して、イノベーションの創出、
および、課題解決人材の育成に資す
る

- 2023年3月30日 保健学研究
科と協定締結

- (目的) 認知症予防や介護予
防などの分野において互いに
協力し、市民の健康福祉の増
進と神戸大学の研究発展等に
寄与する

連携拠点でのさまざまな取り組み



位置情報を活用し、三田市の
魅力を体感できるアプリを使っ
たまちのにぎわい創出をテーマに
まちのブランド観光課と取り組み



<http://oyakobousai.com/>
ほくせつ親子防災ノート/

子育て応援活動に取り組む NPO 法
人ミラクルウィッシュと危機管理課のコラ
ボレーション
防災啓発冊子「ほくせつ親子防災ノ
ート」をベースにしたWeb アプリ版の作
成の取り組み



(左) 森哲男 三田市長
(右) 秋末敏宏 保健学研究科長

保健学研究科では、高齢化
が進む我が国で認知症の高齢
者が急速に増加している背景
のもと、2020年に認知症予防
推進センターを設立し、「認知
症予防に関する研究」と「認知
症予防プログラムの普及」の相
互作用の成果を通じて豊かな
高齢社会づくりや地域活力の
維持・向上に寄与することを目
指しています。

今後、双方の資源や強みを共有し連携を深めることにより、**地域住
民の認知症予防や健康づくりを目的とした臨床研究やプログラムの
推進、健康寿命延伸およびウェルビーイング実現のための共同研究
等を実施する予定です。**



神戸大学×伊丹市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み



■故・石川道子人文学研究科地域連携センター研究員と小西酒造とのプロジェクト「小西酒造所蔵の古文書から復元する元禄の酒」

○小西酒造創業450年の記念行事の一環として、1年ほどの準備期間をとって技術の方々と勉強会を持ち、小西新右衛門氏文書によって元禄15年（1702）に江戸へ積み出された清酒「白雪」を復刻、販売へ。

○これが契機となり、自社にこのような史料があることをはじめて知り、それを活用した酒造りができるということに興味を持たれた社員の方たちが古文書の勉強をはじめたいと、2003年「小西新右衛門氏文書」・「伊丹酒造組合文書」を中心とした勉強会がはじまり、2005年から史料を検討し、文政8年（1825）の「白雪」の再現に取り組む。

【参考文献】石川道子「地域における伝統企業の史料と活用」
（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編『「地域歴史遺産」の可能性』岩田書院、2013年）

▲小西酒造HPより



神戸大学×宝塚市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 山本財産管理組合・神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター・宝塚市市史資料室の協力で
古絵図・古写真の展示会を企画（宝塚市山本地区～植木産業の歴史を展示）



▲ 山本財産管理組合所蔵の絵図



○「あいあいパーク」営業開始 10 年を記念して、毎年開催される「植木まつり」と同時開催で、「古絵図にみる山本村の歴史と園芸産業展」を行う

○山本は巡礼道が地域を東西に通じる古い地区。園芸業によって支えられた山本では、街道の左右とともに地域全体を草花や植木で美しく飾る努力を。古絵図に描かれている池のほとんどが残されているのもこの地域の特徴



▲「園芸報知」（花卉の通信販売誌）



▲ 住民の皆さんと展示準備



▲ 山本会館での展示（2010年4月）



神戸大学×川西市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

■北摂里山地域循環共生圏(hokuCES)への協力 観光：都市住民や観光客の取り込み

北摂地域はもともと自然あふれる住環境であり、歴史ある神社・仏閣が多く、近年ではシェアハウスや地産地消を掲げるレストラン、パン屋、カフェ等も増えている。**川西市の天然記念物である台場クヌギ林や妙見山ブナ林を抱える黒川（東谷）地区**では、独立行政法人水資源機構の管理する一庫ダムや知明湖、その周囲の県立一庫公園なども観光スポットになっている。この観光資源と本提案事業の体験型学習プログラムを組み合わせることにより、より魅力ある観光コンテンツを提供できる。

同プログラムの集客には、神戸新聞社の発信力を生かす。同社は昨年度、兵庫県、神戸市、**神戸大学**、兵庫六甲農業協同組合、生活協同組合コープこうべ等と連携し、**地域資源から得る自然エネルギー「地エネ」を生かした地域づくりを推進する「地エネと環境の地域デザイン」事業を開始**した。同事業では兵庫県内の「地エネ」を活用した事例を訪問する「地エネ&農食ツアー」を手掛け、宝塚すみれ発電のソーラーシェアリング施設もその一つとなり、多くの一般市民が参加した。同社は今年度も同事業を継続し、6月に「地エネと環境の地域デザイン協議会」を発足予定である。同社担当者に本提案事業の概要を説明したところ、IGES関西研究センターも同協議会の一員となり、本提案事業をその分科会の一つとして位置付け、今後、連携していくことが合意された。これを受け、年3回予定される同協議会への参加を通じ、ほかの協議会メンバーとの連携、新聞紙上での成果の発信、本提案事業の活動の体験型学習プログラムへの集客などが期待できる。



▲北摂里山地域循環共生圏HPより

川西市都市計画審議会への委員派遣
H25年度に**工学研究科**助教が就任

川西市障害者施策新協議会への委員派遣
人間発達環境学研究科教授が就任



神戸大学×猪名川町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み



猪名川町中央公民館からの依頼で、2009年度と2013年度に**人文学研究科地域連携センター**のスタッフを中心とした、地域の歴史に関する**生涯学習講座（猪名川町生涯学習カレッジ「リバグレス猪名川」）**を行いました。それぞれ1年間、2週間に一度のペースで実施しました。内容は、猪名川町域に関する古代から近代のあゆみについての講義と、多田銀銅山など猪名川町内の歴史遺産の見学および町内の古文書を活用した実習などです。

猪名川町の古文書を楽しむ会

古文書を楽しむ会は2016年に発足。会設立の契機は、公民館歴史講座を3期にわたり受講したメンバーが中心となって組織された。日生中央公民館で毎月第三土曜日に**人文学研究科地域連携センター**木村修二特命講師の指導のもと猪名川町域に残る古文書を中心に解説している。



猪名川町文化財審議会への委員派遣

2018年度から**地域連携推進本部**特命准教授を派遣している

東播磨地域での連携事業



神戸大学×明石市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

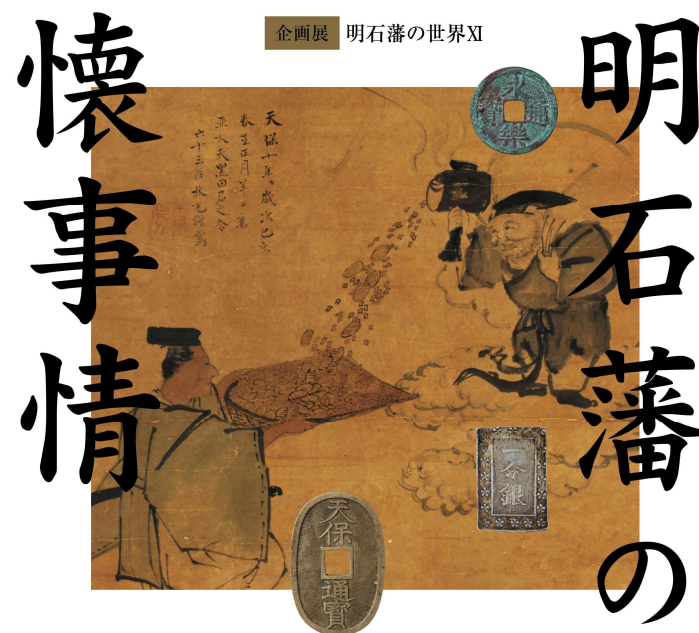
明石市との連携事業が始まったきっかけは、2010年7月から明石市の依頼を受けて、旧明石藩士黒田家関係の資料群の概要調査を**人文学研究科地域連携センター**がおこなったことによります。

その調査結果を明石市に提出した結果、2011年度より古文書を中心とする同資料群の詳細な調査をおこなうことを目的とする受託事業（「明石藩家老関連資料目録作成を通し、近世史の調査研究及び歴史資料の保存活用についての研究」）が本格的にはじまりました。本事業では、江戸時代のものを中心に、古文書の整理・目録を作成するとともに、分量も多く分野也多岐にわたるさまざまなモノ資料の整理もおこないました。

2012年度には、前年度までの基礎調査をうけ、さらに事業をすすめるために「明石藩士黒田家関連資料調査・補修業務委託」と題した受託事業を開始しました。この事業では、古文書などの諸資料の活用が主眼でしたが、それは2012年9月に、松平家・黒田家旧蔵資料受贈記念速報展として「**明石藩の世界**」と題する展示会の開催で実現しました。また一部の資料（美術品）については修復をおこなって、将来の活用にも備えることも進めました。

2013年度以降も古文書を中心とする黒田家旧蔵資料の調査・研究をすすめるとともに、その成果を市民へ還元すべく、活動を続けています。

現在は、**明石市史の編纂事業**を行っています。
(4,100千円)



企画展 明石藩の世界XI

2023年(令和5年)

9月9日(土)～10月15日(日)

9:30～17:30(入館は17:00まで) 月曜休館(9月18日・10月9日は開館)

主催者/明石市、明石市立文化博物館、神戸大学大学院
人文学研究科地域連携センター

後援/兵庫県、明石市教育委員会、公益財団法人兵庫
県芸術文化協会、公益財団法人明石文化国際創
生財団、一般財団法人兵庫県立学校厚生会、神戸
新聞社、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラ
ジオ関西、明石ケーブルテレビ

観覧料/大人 200円 大高生 150円 中学生以下 無料

※20歳以上の団体は割増。
※休館日以上の日、本館常設展示場・教育手帳・精神障害者保健福祉手帳展示の場
(スマートフォンアプリによる観覧も含む。介護が必要な場合は介護者も)は半額。
※シニア向け「いっしょに観覧」プログラムも開催。



明石市立文化博物館



神戸大学×加古川市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

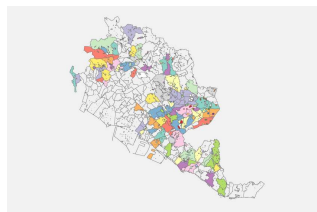


東播磨フィールドステーション

ため池をはじめとする地域資源の新たな管理システムを構築し、地域の持続的な発展を支えるために設置された、地域の交流・研究拠点（2018年6月、加古川市にて開所）

運営は、行政（兵庫県東播磨県民局）と3大学（**神戸大学大学院農学研究科**、**京都大学大学院農学研究科**および**兵庫県立大学地域創造機構**）の間で締結された連携協定のもと、行っている

管理システムを構築していくにあたって、農家、市民、ビジネスセクター、研究者など、多様な主体の連携を促す場となることを目指している



ため池・地域関連基礎データの収集と活用



ため池管理後継者の育成手法の開発



再生可能エネルギー活用によるため池保全



里山資源の活用に向けた
コミュニティビジネスの創出



草刈りの継続実施に向けた
コミュニティづくり

加古川市民病院機構「研究開発・臨床研究支援業務」「特定臨床研究審査意見業務」
（医学部附属病院・寄附講座）



神戸大学×高砂市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み



『高砂市史』執筆者に神戸大学関係者

高砂市文化財審議会への委員派遣

2018年度から地域連携推進本部特命准教授を派遣



神戸大学×稲美町 地域課題への取り組み



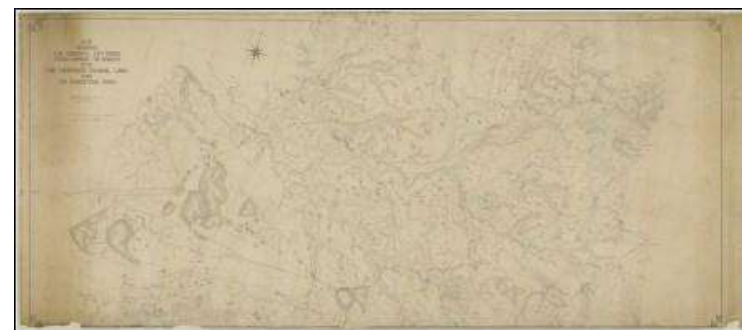
連携拠点でのさまざまな取り組み

淡山疎水資料の調査

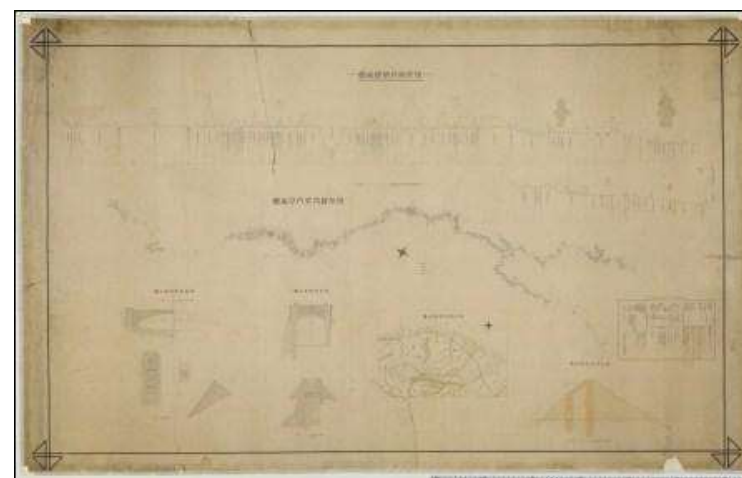
淡河川山田川疏水（淡山疎水）は、明治24年（1891）に最初の工事が完了した、4市1町（兵庫県神戸市・三木市・明石市・加古川市・稲美町）にわたる大規模な用水路です。

貴重な産業遺産として、2007年度より兵庫県教委と関係市町教委の間で淡山疎水検討会が組織され、文化財指定・登録を念頭に、詳細な調査が進められています。

同会の要請を受け、**人文学研究科地域連携センター**は、2008年3～4月に**稲美町教委**が行った淡山土地改良区事務所所蔵資料（文書・実物資料等）の2007年度調査に、資料の調査・整理方法についてのアドバイスと、作成された資料カード・目録のチェック作業で協力しました。



▲『宮ノ谷以西加古郡印南新村草谷村間平面図』（有形文化財・歴史資料）



▲『淡河川疏水線路全線縦断平面図』（有形文化財・歴史資料）



神戸大学×播磨町 地域課題への取り組み



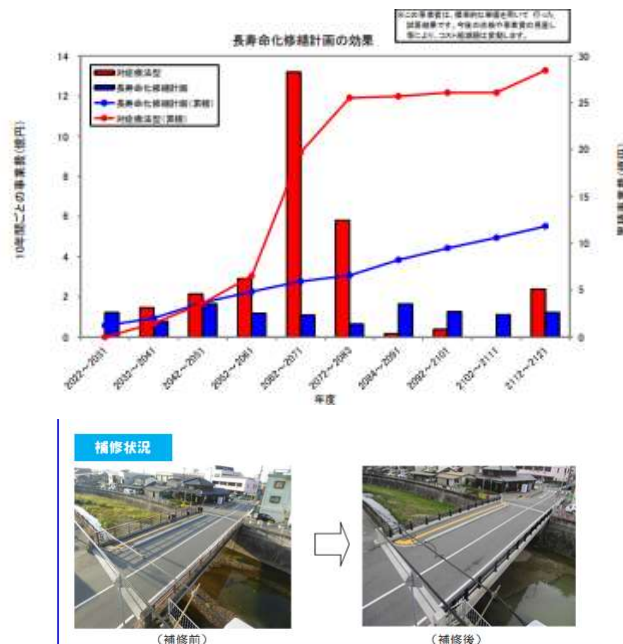
連携拠点でのさまざまな取り組み

橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、工学研究科
市民工学専攻森川英典教授による指導・助言

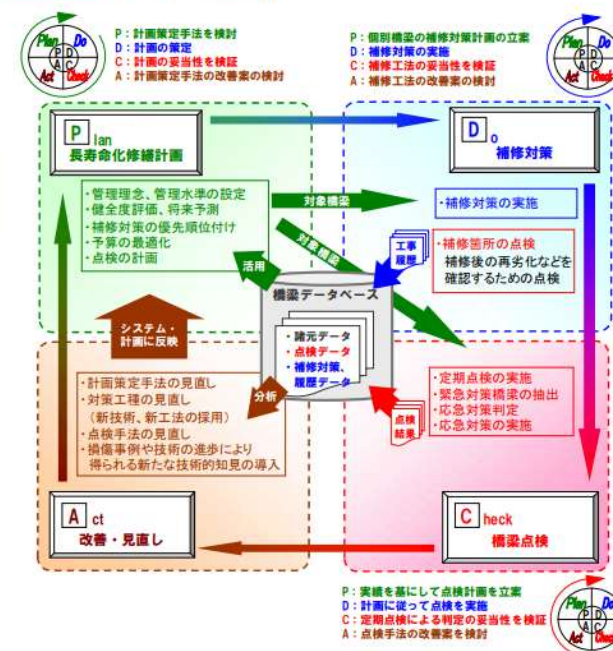
兵庫県播磨町
橋梁長寿命化修繕計画の概要



令和4年3月
兵庫県播磨町土木グループ



PDCAサイクルのイメージ



北播磨地域での連携事業



神戸大学×小野市 地域課題への取り組み



- 2005年1月26日 **全学協定締結**
- (目的) 相互の持続的な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展および大学の教育、研究に寄与

連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 人文学研究科との「小野市域の村堂調査にかかるデータの整理と分析」「小野藩家老家伊藤文書を用いた明治初期小野市域地租改正実施過程の歴史研究」事業（300千円）

小野市立好古館との連携事業



特別展「青野原俘虜収容所の世界～河合地区の近世・近代から現代～」
(2005/10)



特別展「太閤秀吉と河合郷～小野市河合地区の近世・近代から現代～」
(2006/10)



『捕虜として姫路・青野原を生きる
1914-1919 箱庭の国際社会』
大津留厚・奥村弘・長野順子著
発行 神戸新聞総合出版センター
2011年10月刊行
A5判 102ページ 840円（税込）

第一次世界大戦当時、小野市青野原にあった俘虜収容所に収容されたドイツ兵・オーストリア＝ハンガリー兵たちの日常生活や地域との交流を描く



神戸大学×加西市 地域課題への取り組み



- 2009年5月19日 **全学協定締結**
- (目的) 文化・教育及び学術の分野で援助・協力し、生涯学習等に関する諸課題や文化遺産を活用した地域との連携事業について協同で研究等に参画

連携拠点でのさまざまな取り組み

食資源教育研究センターによる連携事業



かわいらしい赤紫色の目が特徴



収穫時のはりまる

地元農家・企業と連携して
「はりまる」を使ったコロッケづくり・販売へ

人文学研究科による

「加西市戦争遺産資料拡充調査委託」「加西市戦争遺跡調査委託」(1,914千円)
「soraかさい」歴史ゾーンでの展示協力



姫路海軍航空隊の開隊から終戦までの4編のストーリー映像を紹介映像とともに、鶺野に関する貴重な写真や図面、実物資料も展示

第二次世界大戦末期、滑走路の南西にあった川西航空機姫路製作所鶺野工場で組み立てられていた戦闘機「紫電改」と、パイロット養成に使用され、特攻機としても使われた「九七式艦上攻撃機」の実物大模型を解説とともに展示





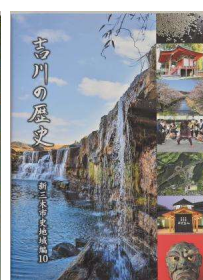
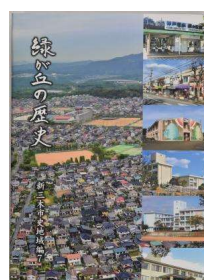
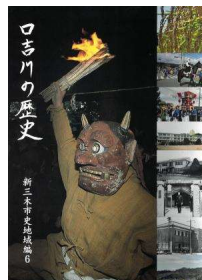
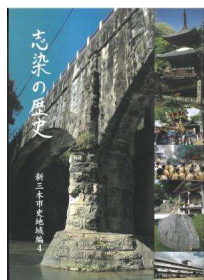
神戸大学×三木市 地域課題への取り組み



- 2013年6月27日 **全学協定締結**
- (目的) 相互の持続的な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展および大学の教育、研究に寄与

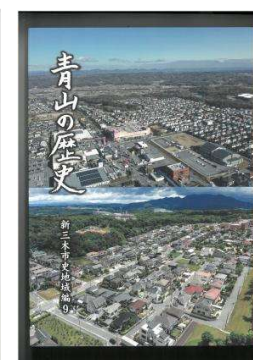
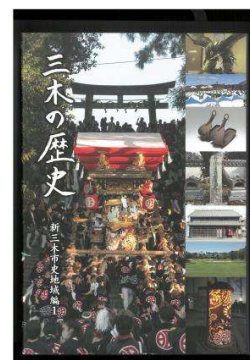
連携拠点でのさまざまな取り組み

人文学研究科地域連携センターから特命講師が出向
新三木市史の編纂事業 地域編・通史編の刊行 (8,700千円)



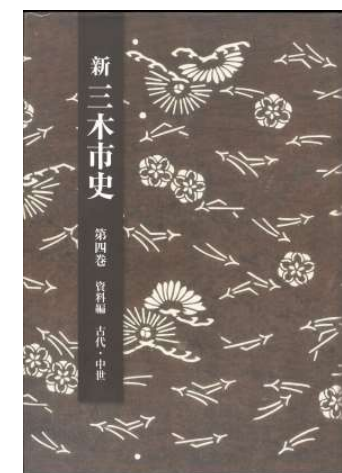
地域編

『志染の歴史』『口吉川の歴史』
『緑が丘の歴史』『吉川の歴史』



地域編

『三木の歴史』『青山の歴史』



通史編

『資料編 古代・中世』



神戸大学×小野市・三木市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

北播磨総合医療センター



■沿革

H19 神戸大学から三木市・小野市統合病院構想を提案

H20 三木市・小野市が統合病院構想に合意

H21 三木市・小野市統合病院建設協議会を設置、統合病院の基本構想・基本計画を策定

H25 北播磨総合医療センターを開院

「病理学講座／病理診断学分野／病理ネットワーク学部門」
(医学研究科・寄附講座)



神戸大学×多可町 地域課題への取り組み



- 2009年7月30日 **経済学研究科**と連携協定締結
- (目的) 地域政策に関する調査や研究及びその成果の普及等において連携し協力する

連携拠点でのさまざまな取り組み

藤岡秀英ゼミ・「学生流むらづくりプロジェクト『木の家』」

2015年度は、亜麻の収穫後に、酒米「山田錦」の栽培に「無肥料・無農薬・天日干し」で挑戦し、これを「純米酒、亜麻の舞」に加工して販売を始めました



2015年6月 山田錦田植え



「木の家」が建てたログハウス



2015年10月「山田錦」脱穀作業



純米酒「亜麻の舞」

【多可町】認知症予防事業（保健学研究科）（603千円）



神戸大学×西脇市 地域課題への取り組み



- 2015年7月31日 **人文学研究科**と連携協定締結
- (目的) 文化、教育、学術等の分野で相互に協力することにより、地域社会の発展及び大学の教育、研究に寄与する

連携拠点でのさまざまな取り組み

市立西脇小学校（同市西脇）の木造校舎が
国指定重要文化財に答申（2021年5月）



足立裕司神戸大学名誉教授が「西脇小学校校舎
基本計画検討委員会」の委員長として、工事の中心
的な役割を担った



調印式にあたり、増本
浩子人文学研究科長
（当時）が「地域を担
う人材を育成し、西脇
市の発展にも貢献した
い」とあいさつ。片山象
三西脇市長は「今後、
連携分野を拡大し、
地域社会の発展、教
育力の向上につなげたい」と話した。

人文学研究科地域連携センターは、地域文化財等の研究を行いました



神戸大学×加東市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

兵庫県難病団体連絡協議会・兵庫県共催

第80回(難病)「医療・生活」相談会

病気や治療などの講話や日常生活に関する相談に専門家が対応します。

日時 11月18日(日)13時～16時

場所 コミュニティーセンターおの(小野市王子町806-1)

参加費 無料 申し込み 不要

パーキンソン病	地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 神経内科 主任科部長 石原広之さん
リハビリ相談	加古川中央市民病院 リハビリテーション室 理学療法士 平瀬智さん 作業療法士 西畑永人さん
腎臓病	医療法人社団栄宏会 栄宏会小野病院 名誉院長 門脇誠三さん
就労・生活・福祉・ 介護相談	就労相談 北播磨障害者就業・生活支援センター 福祉相談 小野市 社会福祉課 介護相談 小野市 高齢介護課 生活相談 加東健康福祉事務所
歯科相談	小野加東歯科医師会
神経系疾患 (ALS・脊髄小脳変性 症・多系統萎縮症・重 症筋無力症・筋ジス トロフィー他)	独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院 副院長 舟川格さん
心臓病	神戸大学大学院 医学研究科循環器内科学分野 講師 田中秀和さん
後縦靭帯骨化症	独立行政法人 労働者健康安全機構 神戸労災病院 整形外科 副部長 金山修一さん
免疫系疾患 (膠原病・リウマチ・ ベーチェット病ほか)	神戸大学医学部附属病院 膠原病リウマチ内科 助教 大西輝さん
肝臓病	神戸大学医学部附属病院 消化器内科 講師 矢野嘉彦さん
潰瘍性大腸炎・クロー ン病	兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科学部門 助教 上小鶴孝二さん

兵庫県難病団体連絡協議会 ☎078-322-1878

加東健康福祉事務所地域保健課 ☎42-5111(代表)

広報かとうH30年11月号より

兵庫県難病団体連絡協議会・兵庫県共催

第86回(難病)「医療・生活」相談会

難病に悩まれている方を対象にした相談会を開催します。この相談会では、各病気の専門の先生をお招きし、病気や治療等の講話や、日常生活に関する相談に対応いただきます。

■日時 11月28日(日) 13時～15時

■場所 三木市立市民活動センター(三木市末広1丁目6-46)

■参加費 無料

■申込先 加東健康福祉事務所地域保健課

■申込方法 電話、またはFAX

※FAXで申し込まれる場合は、①住所、②氏名(複数人参加される場合は全員分)、③電話番号、④希望するブース名、⑤参加人数(複数人参加の場合のみ)をご記入のうえ、お申し込みください。

■申込期限 11月22日(月)

対象となる疾患、相談場所、講師等は下表のとおりです。

ブース名	定員	講師
免疫系疾患 (膠原病・リウマチ・ベーチェット病等)	15	三浦クリニック 副院長 三浦孝子
網膜色素変性症	12	ししだ眼科クリニック 院長 穴田克己
腎臓病	35	きたうらクリニック 院長 北浦圭介
心臓病	10	加古川中央市民病院 心臓血管外科 科長 園尾文子
潰瘍性大腸炎・クローン病	12	兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患内科 助教 佐藤寿行
血液疾患	10	兵庫医科大学病院 血液内科 助教 徳川多津子
肝臓病	25	神戸大学付属病院 消化器内科 講師 矢野嘉彦
神経系疾患 (ALS・筋無力症・脊髄小脳変性症等)	15	兵庫中央病院 脳神経内科 診療部長 二村直伸
パーキンソン病	50	三田高原病院 脳神経内科 医長 舟川格
生活・保健相談	10	加東健康福祉事務所 地域保健課 保健師 健康管理課 管理栄養士

加東健康福祉事務所地域保健課 ☎42-9427 FAX42-4050
兵庫県難病団体連絡協議会 ☎078-322-1878

広報かとうR3年10月号より



加東警察署からのお知らせ

加東警察署 ☎42-0110

サイバーセキュリティ eラーニングシステム

サイバー攻撃の被害にあわないためには、日頃からサイバーセキュリティ意識を高めおく必要があります。

県警察は、神戸大学との共同開発により、サイバーセキュリティなどについて学習できる「サイバーセキュリティeラーニングシステム」を開発しました。

県警察ホームページに掲載していますので、ぜひ、ご活用ください。

※本システムはパソコンでの利用を想定しているため、タブレットやスマートフォン等からアクセスした場合、正常に動作しない場合があります。

兵庫県警 eラーニング 検索

https://www.police.pref.hyogo.lg.jp/seikatu/cyber_defense/index4.htm

広報かとうR3年11月号より

中播磨地域での連携事業



神戸大学×姫路市 地域課題への取り組み



- 2023年3月22日 **国際文化学研究科**と連携協定締結
- (目的) 相互の連携により、地域文化の振興と地域社会の国際化を促進すること

連携拠点でのさまざまな取り組み



清元秀泰姫路市長と藤濤文子国際文化学研究科長



姫路市でフィールドスタディ (2023/1/28)

国際文化学研究推進インスティテュート (Promis) 地域連携センターは、国際人間科学部グローバル文化学科と共同で、1月28日に姫路市でフィールドスタディを行いました。国際文化学研究科 (国際人間科学部)、地域連携推進本部、SDGs推進本部の教職員と学生約30名のほか、神姫バスおよび姫路観光コンベンションビューロー (DMO) から8名の職員が参加してくださいました。

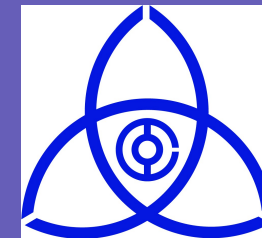
DMO職員の案内のもと、商業施設やホテルが立ち並ぶ姫路駅前や商店街のまち歩きをした後、市民会館で学生たちが姫路の観光振興についてプレゼンを行ない、神姫バスや姫路DMOの方々と意見交換を行いました。

姫路市大学発まちづくり研究助成事業 (姫路市政策局高等教育室) 計1,950千円

研究グループ名	研究テーマ	事業責任者
森林資源学研究室	スギ人工林の再造林・広葉樹林化に関する研究	農学研究科 教授 石井 弘明
神戸大学promis地域連携センター (国際誘客研究グループ)	留学生・短期交流学生のモニターツアーに基づく国際誘客の基礎調査	国際文化学研究科 教授 井上 弘貴
よいとこ健診研究会	よいとこ健診が地域コミュニティにもたらす効果	経済学研究科 教授 藤岡 秀英



神戸大学×姫路市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

『香寺町史』村の歴史（通史資料編）の編纂事業

「村の歴史」は、歴史を専門とする研究者を中心に執筆。内容は、考古・古代・中世・近世・近現代・民俗からなる。

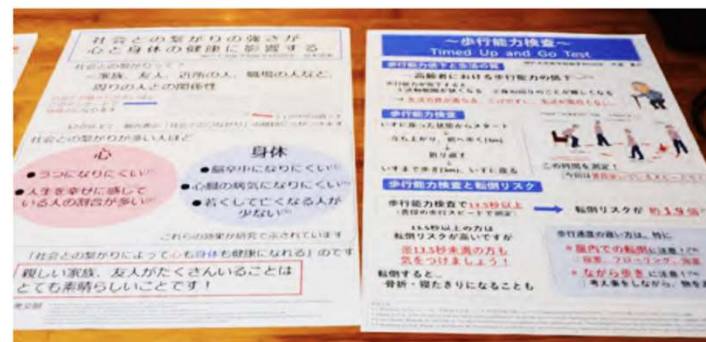
「村の記憶」（地域編）は特色ある自治体史であると同時に、地域の歴史文化を地域の方々自らが研究して町づくりに活かしていく方向性を持ったものであり、**人文学研究科地域連携センター**の事業の柱の一つである「自治体・地域住民と連携した新たな自治体史編纂や地域歴史博物館形成事業」と密接な関係がある



医学研究科地域医療活性化センターと経済学研究科による「夢前花街道事業と加点式 健診事業の連携による地域活性化実践研究（地域連携推進室地域連携事業に採択）」

2018年2月に**夢前花街道事業実行委員会**が組織され、「健康増進のまちづくり」を行うことに。夢前花街道事業は、香寺ハーブガーデンの福岡譲一社長が旗振り役。社会システムイノベーションセンター（経済学研究科）の藤岡秀英教授が、医学研究科地域医療活性化センターの岡山雅信教授らを招いて、岡山教授が住民を対象に、採血等をしない、医師免許がなくても誰でもできる「問診票」中心の健診を考案。

この「**加点式健診事業（よいとこ健診）**」は、既存の様々な健診票を参考にした問診票で、既存の様々な健診票を参考にし、家族、職業、運動量、人付き合いなどから健康や活動、心の状態を尋ね、良い部分を見つけ出し、学生が面談し、その結果をもとに、健康にプラスの効果をもたらす部分をとにかくほめてあげるという方法。





神戸大学×神河町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

公立神崎総合病院との医療連携



神河町長令和3年1月のメッセージ（1月1日放送）より

公立神崎総合病院の医師派遣で大変お世話になっています神戸大学医学部において、藤澤正人同大学大学院医学研究科長が、手術支援ロボット「hinotori（ヒノトリ）」の研究・開発とともに、初めての手術を執刀され、成功されました。神戸大学には神河町として、この間、寄附講座など支援を行ってきました。国産初、神戸発の手術支援ロボット「hinotori」が開発され、運用が始まることは、コロナ禍で暗い話題が多いなか、とてもうれしく思いました。今後の活躍を大いに期待するとともに、引き続きの支援と、神戸大学と公立神崎総合病院との連携強化に努めてまいります。

「外科系講座／リハビリテーション機能回復学分野」（医学研究科・寄附講座）

中村自治会文書の調査



人文学研究科地域連携センターメンバーと地域連携推進室メンバーで、地元住民の協力を得て中村ドリームホーム内の中村自治会文書を調査



神戸大学×市川町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

屋形自治会文書の調査



人文学研究科地域連携センターメンバーと地域連携推進室メンバーで、市川町の古文書を読む会メンバーと共同で、屋形公民館内の古文書の再調査を行う

その後、同村を支配した福本藩領、旗本屋形池田領の研究に進展



神戸大学×福崎町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 人文学研究科地域連携センターでは、平成21年度より「**辻川界隈の地域歴史遺産掘り起こし及び三木家住宅の活用基本構想作成**」と題する共同研究を福崎町と開始（2,000千円）



三木家は、明暦元年（1655）、飾万津（飾磨）から福崎町辻川の地に移り住み、**姫路藩の大庄屋**として地域の政治と文化の中心的存在となってきました。福崎町出身である、'民俗学の父'柳田國男との縁も深く、1972年に三木家住宅が**兵庫県指定文化財**となり、その後、2004年に町有化され福崎町の財産として、地域づくりの中心となっている

西播磨地域での連携事業



神戸大学×相生市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、工学研究科
市民工学専攻森川英典教授による指導・助言



相生高校と神戸大学留学生との交流会 (大学教育推進機構 グローバル教育センター)

特色ある学校行事

“Passport to the World”を掲げ、**神戸大学**にて留学生との交流会を行っています。また、相高生フォーラムでの弁論や全校読書会など、創立当初から本校が独自で行っている行事もあります。さらにEnglish Dayと銘打って多くのALTと交流する行事も実施しています。



神戸大学留学生との交流会



相高生フォーラム



English Day



12/8 日本古来のお米に触れる

認定こども園どんぐりの家で**神戸大学**名誉教授の保田先生の「ごはん塾」がありました。県内の幼稚園と保育園で10園が選ばれる同事業に3回目の応募で当選。68人の園児たちは、薪割りと火ぶきを体験し、12升約150人分の「コウノトリ育むお米(無農薬)」を炊き上げました。松本真桜ちゃんは、「おいしくておかわりしたよ」と満面の笑みでした。



神戸大学×たつの市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

■『播磨新宮町史』史料編編纂事業

播磨新宮町史 史料編 I 古代・中世・近世

新宮町史編集専門委員会編
発行 兵庫県新宮町
2005年9月刊行
B5判 803ページ 5000円



播磨新宮町史 史料編II 近現代

新宮町史編集委員会編
発行 兵庫県新宮町
2004年3月刊行
B5判 732ページ



■神戸大学近世地域史研究会の開催

播磨新宮町史刊行後も、地域歴史遺産としての史資料を住民が利活用できるような環境作りに向けて、**人文学研究科地域連携センター**では様々な取り組みを行っています。

近世史部会では**神戸大学近世地域史研究会**を立ち上げ、研究を継続させています



ハイブリッド形式で行われている
神戸大学近世地域史研究会
の例会の様子



神戸大学×赤穂市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

神戸大学大学院地域医療教育学部門

地域医療夏季セミナー2022 in ひょうご

地域医療夏季セミナー2022 in ひょうご

ハイブリッド形式で開催

平成4年8月18日（木）10:00 a.m.～20日（土）3:00 p.m.

1日目73人の学生がオンラインにて実習を行いました。2日目は、7グループ55名が現地訪問実習（新温泉町、香美町、豊岡市・朝来市、西脇市、赤穂市、姫路市）を各地域に分かれ行い、3グループ18名がオンライン実習（神河町、養父市、丹波市）を行い、先輩養成医や住民との交流・意見交換などのプログラムを体験しました。最終日には学習成果をまとめるためのグループワークをオンラインで行い、発表会にて地域医療の現場で学んだ成果を発表。地域医療が担う役割、課題について意見を共有しました。

ひょうごの未来を築く 11の地域を体感

地域医療 夏季セミナー 2022 in ひょうご

日程 令和4年 8月18日（木）～20日（土）

会場 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター
（兵庫県神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5）

対象者 地域医療に興味を持つ医学生

定員 72名（定員に達し次第締め切らせていただきます）

参加費 無料 ※現地での食費は自己負担
※宿泊費は別途支給します

主催 神戸大学大学院地域医療教育学部門
兵庫県地域医療支援センター

共催 新温泉町、香美町、豊岡市、養父市、朝来市、丹波市、
西脇市、神河町、兵庫県、赤穂市、姫路市

行程表

8/18 ① オンラインにてオリエンテーション等の実施
② 一部学生（但馬方面グループ）はバスで宿泊先へ移動

8/19 ③ 但馬方面以外のグループはバスで各研修先へ移動
④ 各地域にて研修
⑤ 全員大学帰郷

8/20 ⑥ オンラインにて発表準備
⑦ オンラインにて発表

● 問い合わせ先 ●

参加ご希望の方は、右のQRコードまたは下記URLにアクセスし登録を行ってください。
https://us02web.zoom.us/join/register/WN_ogF0EhD8TFacHwzAeLughw
 ※詳細はお申込みいただいた後にお知らせいたします。
 ※登録完了メールが届かない場合は下記にお問い合わせください。 申込締切日／7月21日（木）



申込登録はこちら

神戸大学大学院地域医療教育学部門
〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5

TEL.078-382-6732 FAX.078-382-6283
Email: dcme@med.kobe-u.ac.jp HP: <http://www.med.kobe-u.ac.jp/dcme/>



神戸大学×宍粟市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

2009年台風9号被災文化財レスキュー事業（人文学研究科地域連携センター、歴史資料ネットワーク、宍粟市教育委員会との連携）



▲持ち回りの区有文書が入っていた和筆筒。1階部分が1 m水没し水に浸かった



▲雨水に浸かった絵図を乾燥させているところ



▲絵図の修復が完了。区長・史料ネットメンバーと記念撮影

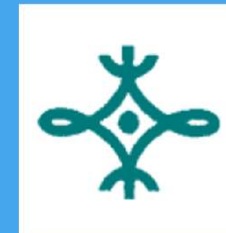


閏賀自治会文書の 現地説明会・展示会

水損した書類筆筒や絵図をはじめ、区有文書の一部、水害の様子を写した写真を地域の方々と協力し展示
古文書の内容は地域連携センターメンバーが解説



神戸大学×太子町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、工学研究科
市民工学専攻森川英典教授による指導・助言

兵庫県太子町
橋梁個別施設計画
(長寿命化修繕計画)



令和4年12月
兵庫県太子町 経済建設部 まちづくり課

①老朽化対策における基本方針 a) 長寿命化修繕計画の目的

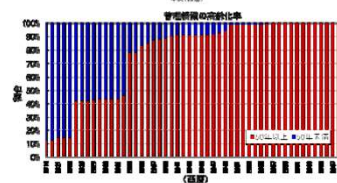
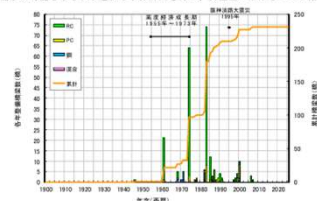
(1) 背景

- 太子町が管理する橋梁のうち橋長2m以上の橋梁は、現在177橋(231橋)である。
- これら橋梁のうち建設から50年を経過する高齢化橋梁は、2019年で18橋であるが、今後20年後には149橋、約84%となり、急速に高齢化橋梁が増大する。

※：橋梁単位の橋梁数である。以下の割合は橋梁単位の橋梁数による。

(2) 目的

- このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の補修・架替えに対応するため、計画的な補修が可能となるよう適切な予算計画を行い、安全性の確保とコスト削減を図る。



b) 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	町道1線	町道2線	その他	合計
全管理橋梁数	20	17	140	177
うち計画の対象橋梁数	20	17	140	177
うち計画策定対象橋梁数	1	4	8	13

○長寿命化修繕計画の対象橋梁:太子町が管理する全橋梁

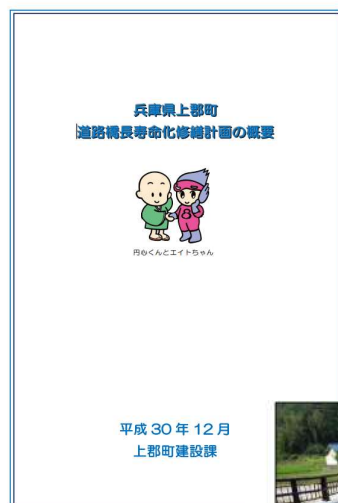


神戸大学×上郡町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、工学研究科
市民工学専攻森川英典教授による指導・助言



平成 30 年 12 月
上郡町建設課



	町道1級	町道2級	その他	合計
管理橋梁数	28	46	241	315
うち計画策定を行う橋梁数	28	46	241	315
うちこれまでの計画策定橋梁数	9	23	171	203
うちH30計画策定橋梁数	28	46	241	315

○長寿命化修繕計画の対象橋梁:上郡町が管理する全橋梁

※ 判定区分: 橋の健全性を示す指標。
I~IVの4段階で表示し、I: 健全、II: 予防保全段

地域連携推進本部メンバーが上郡町を訪問、農業・歴史
文化・ボランティア等について意見交換 (2024/2/21)
R6 年度より地域課題に関する調査を開始予定



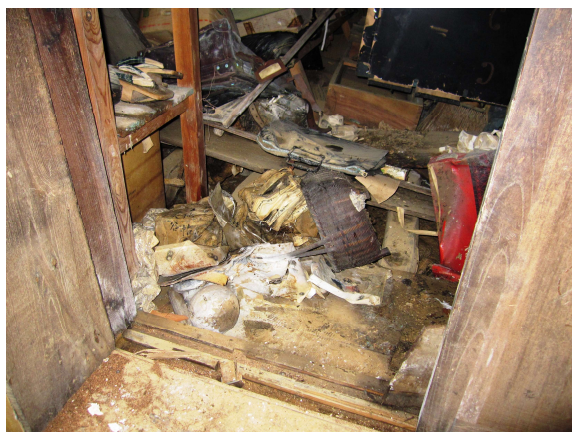


神戸大学×佐用町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

2009年台風9号被災文化財レスキュー事業（人文学研究科地域連携センター、歴史資料ネットワーク、佐用町教育委員会、佐用郡地域史研究会との連携）



人文学研究科地域連携センターメンバーによる
レスキューと修復



佐用町教育委員会、佐用
郡地域史研究会メンバーと
共同で被災資料整理



展示会や講演会・WSで成
果を地元に還元（2010年
5月、於兵庫県立歴史博
物館）

但馬地域での連携事業



神戸大学×朝来市 地域課題への取り組み



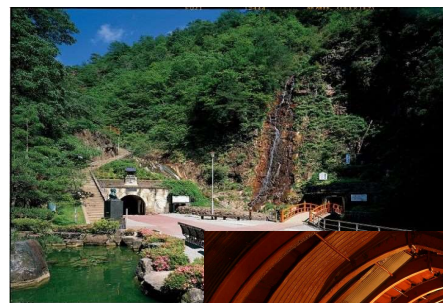
- 2005年3月23日 **全学協定**締結（当時：朝来郡生野町）
- （目的）文化・教育及び学術の分野で援助・協力し、生涯学習等に関する諸課題や文化遺産を活用した地域との連携事業について協同で研究等に参画する

連携拠点でのさまざまな取り組み

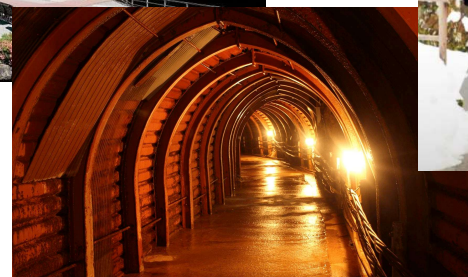


生野書院

人文学研究科教員が、地元の「古文書初級教室」と連携し、生野書院で保管されている古文書の整理や解読、古文書講座開催や生野書院での展示の形で成果を還元（2003～）（500千円）



生野銀山



国際文化学研究科、人文学研究科の教員が協力し、生野銀山を含めた生野町のPR動画シナリオを作成（2022）

「よさぶろう」と「いくのん」



生野の町並み





神戸大学×豊岡市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

2004年台風23号被災文化財レスキュー事業（人文学研究科地域連携センター、歴史資料ネットワーク、兵庫県教育委員会・豊岡市教育委員会・神戸市教育委員会、但馬史研究会との連携）



泥水で被災した古文書



文学部学生による修復

兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医療系人材育成促進事業（地域連携公募事業）



医師不足地域の県立高校では、地域の医療を支える人材を育成することを目的として「医療系人材養成プログラム」が実施されている。地元の医療現場を訪れ、講演や見学を通して業務に触れるとともに、倫理観、コミュニケーション能力などを学び、医療系職種を目指す若者を奨励することを目指している。

神戸大学は、兵庫県教育委員会と協定書を交わしてこのプログラムと連携する形で「**兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医療系人材育成促進事業**」を行うこととなった。令和元年度に先行事業を実施したところ、関係者に好評で成果が得られたことから、令和2年度より正式事業を開始した。

豊岡高校などの高校生が医学部や同附属病院の医療現場や研究室などを見学・体験することで医療・医学に対する興味と関心を喚起し、目的意識を持って医療系職種を目指す人材を育成するための諸活動を行なった。

豊岡市「外国人住民に関する調査研究事業（人文学研究科らの教員グループ）

図3. 地区別外国人住民数



神戸大学児童文化研究会「どうけん夏合宿」



豊岡市の豊岡駅前にあるAityにて人形劇と手遊びを行いました。（2023/8/18）



神戸大学×養父市 地域課題への取り組み



- 2023年7月25日 **経済学研究科**
と連携協定締結
 - 人口減少下における農業振興及び地域の課題解決に資する共同研究の推進
 - 地域・社会に貢献できる人材の育成



(左)広瀬栄 養父市長 (右)宮尾龍蔵 経済学研究科長

連携拠点でのさまざまな取り組み



経済学研究科の衣笠智子教授と養父市との共同研究を
きっかけに、衣笠教授を中心に進めている『『農業特区』養父市
における持続可能な農業・農村の発展に関する研究』等をさら
に発展させるものです。

今後は、国家戦略特区の効果や人口減少下における農業
振興及び地域の課題解決に資する研究を官学一体となって積
極的に取り組み、また、相互の人的・知的資源の交流及び活
用を図り、人材育成や学術の振興の推進を図ります。

(1,800千円)

公立八鹿病院との医療連携



「外科学講座／低侵襲外
科学分野」（医学研究科・
寄附講座）

【養父市】認知症予防教室「健康づくりセミナー」（保健学研究科）
(100千円)

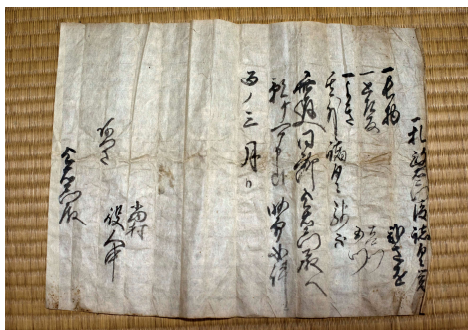


神戸大学×香美町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

人文学研究科地域連携センターが園田学園女子大学と連携し無住化集落の古文書調査、民俗調査写真の修復



熱田地区の民俗事例
を撮影した写真

神戸大学児童文化研究会「どうけん夏合宿」



香美町立長井小学校を訪問、人形劇から始まり、運動、工作、縁日、水鉄砲と様々な遊びを子どもたちと行い、どれも子どもたちから大変に好評で、とても素晴らしい会になりました。(2023/8/17)



神戸大学×新温泉町 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

神戸大学大学院地域医療教育学部門

地域医療夏期セミナー2022 in ひょうご

地域医療夏季セミナー2022 in ひょうご

ハイブリッド形式で開催

平成4年8月18日（木）10:00 a.m.～20日（土）3:00 p.m.

1日目73人の学生がオンラインにて実習を行いました。2日目は、7グループ55名が現地訪問実習（新温泉町、香美町、豊岡市・朝来市、西脇市、赤穂市、姫路市）を各地域に分かれ行い、3グループ18名がオンライン実習（神河町、養父市、丹波市）を行い、先輩養成医や住民との交流・意見交換などのプログラムを体験しました。最終日には学習成果をまとめるためのグループワークをオンラインで行い、発表会にて地域医療の現場で学んだ成果を発表。地域医療が担う役割、課題について意見を共有しました。

ひょうごの未来を築く 11の地域を体感

地域医療 夏季セミナー 2022 in ひょうご

日程 令和4年 8月18日（木）～20日（土）

会場 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター
（兵庫県神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5）

対象者 地域医療に興味を持つ医学生

定員 72名（定員に達し次第締め切らせていただきます）

参加費 無料 ※現地での食費は自己負担
※宿泊費は別途支給します

主催 神戸大学大学院地域医療教育学部門
兵庫県地域医療支援センター

共催 新温泉町、香美町、豊岡市、養父市、朝来市、丹波市、
西脇市、神河町、兵庫県、赤穂市、姫路市

行程表

8/18（木） オンラインにて
オリエンテーション等の実施
一部学生（但馬方面グループ）は
バスで宿泊先へ移動

8/19（金） 但馬方面以外のグループは
バスで各研修先へ移動
各地区にて研修
全員大学帰郷

8/20（土） オンラインにて発表準備
オンラインにて発表

● 問い合わせ先 ●

参加ご希望の方は、右のQRコードまたは下記URLにアクセスし登録を行ってください。
https://us02web.zoom.us/join/register/WN_ogF0EhD8TFacHwzAeLughw
 ※詳細はお申込みいただいた後にお知らせいたします。
 ※登録完了メールが届かない場合は下記にお問い合わせください。 申込締切日／7月21日（木）



申込登録はこちら

神戸大学大学院地域医療教育学部門
〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5

TEL.078-382-6732 FAX.078-382-6283
Email: dcme@med.kobe-u.ac.jp HP: <http://www.med.kobe-u.ac.jp/dcme/>

丹波地域での連携事業



神戸大学×丹波篠山市 地域課題への取り組み



- 2010年8月30日 **全学協定締結**
- (目的) 長年にわたり培ってきた信頼関係と連携・協力実績を基盤とし、さらなる地域の活性化と発展に向けて連携・協力する

連携拠点でのさまざまな取組み

丹波篠山フィールドステーション

2006年に開設
「食農コープ教育プログラム」、地域おこし協力隊や丹波篠山市の産官学連携の活動・研究拠点



神戸大学・丹波篠山市 農村イノベーション・ラボ

2016年に開設
地域に根差したビジネスづくり
(起業・継業)、地域での挑戦的な取り組み支援、人材育成に取り組む



兵庫県丹波篠山市における市史編さん事業 のための研究と検討 (3,700千円)

丹波篠山市史編さん事業を円滑に推進するため、令和2年8月に丹波篠山市史編さん委員会を設置。委員会では、市史編さんの方針・計画等の重要事項に関することや、市史編さんに必要な資料の調査・収集・研究・執筆・編集・刊行等に関することなどについて審議。

にしき恋

西紀南地区で、農業ボランティアや地域交流などの活動を行っている団体。農学部の授業「実践農学入門」を契機に2013年結成
「食と農林漁業大学生アワード2019」にて、神戸大学の地域密着型サークル「にしき恋」が、最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞



篠山・神戸地域連携プログラム (7,150千円)



神戸大学×丹波市 地域課題への取り組み

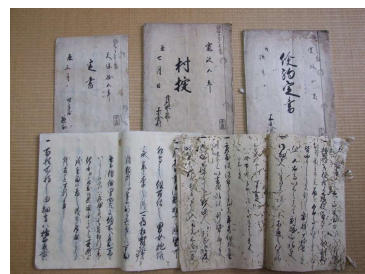
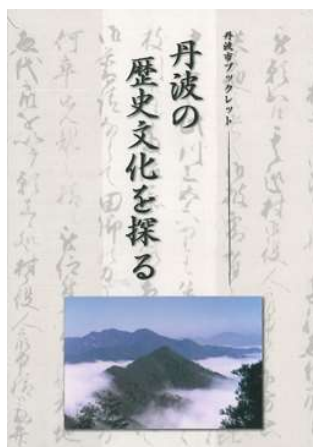


- 2007年8月24日 **人文学研究科**と協定締結
- (目的) 丹波市域の歴史文化遺産の調査・研究・保全と、それらの活用による地域の活性化に寄与する

- 2020年8月11日 **保健学研究科**と協定締結
- (目的) 経済産業省と日本医療開発研究機構 (AMED) が中心となった認知症対策官民イノベーション実証基盤整備事業に採択され実施する

連携拠点でのさまざまな取り組み

市内の古文書調査 (2006～) (1,870千円)



丹波市教育委員会・神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編
発行 丹波市教育委員会
2011年3月刊行
A5判 89ページ



協定締結式 (2020年)



医学部附属病院「地域医療循環型人材育成プログラム」

淡路地域での連携事業

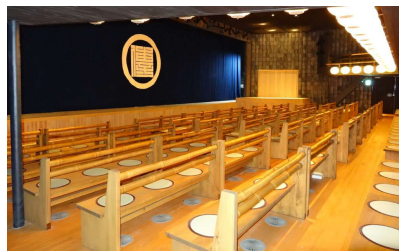


神戸大学×南あわじ市 地域課題への取り組み



- 2009年6月26日 **国際文化学研究科**との協定締結
- (目的) 「大学の知」と南あわじ市の「地方文化の智」が出会う
共同の研究と教育の実践の場を作り、地域の国際化や地域文化の
発展、国内外への地域文化発信などの課題に共同で取り組むこと

連携拠点でのさまざまな取組み



淡路人形座客席



傾城阿波の鳴門奥

国際文化学研究科が、淡路人形座と連携し、人形浄瑠璃を通じた交流事業を行う。フィールドワークの一環として留学生が現地で体験学習を行ったり、淡路人形座のウェブサイトの英語版作成などに協力

プロジェクト福良（「学生アクションプラン」採択団体）

使われていない古民家や地域交流施設「ギョギョタウン」を、福良まちづくり協議会と協力し、学生ならではの視点で改修案を提案し、設計改修を行い、地域の交流の中心となるような憩いの場を創出

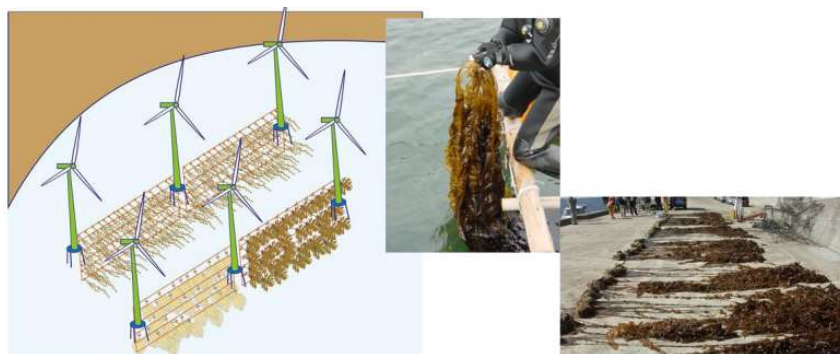


神戸大学×南あわじ市・淡路市 地域課題への取り組み

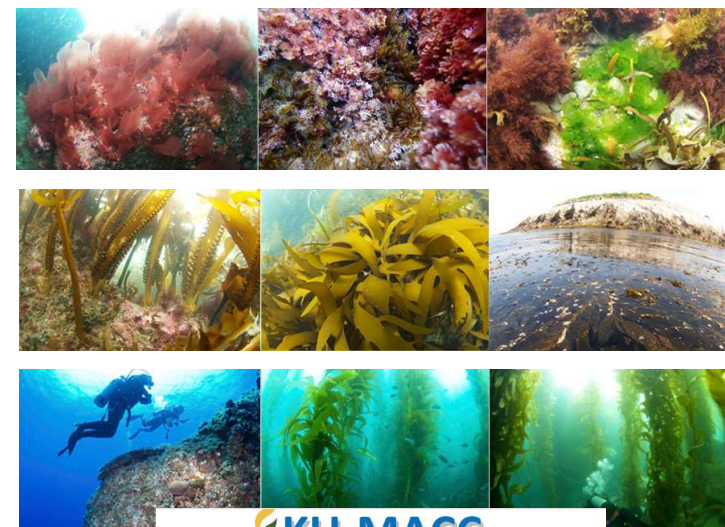


連携拠点でのさまざまな取り組み

地球温暖化対策の切り札として注目されている**ブルーカーボン**
(海洋に生育する藻類や海草によって吸収・固定される炭素)



内海域環境教育研究センターが保有する世界最大規模の海藻類系統株コレクション（KU-MACC）を活用して、事業対象とする海域での育成（養殖）に最適な海藻を探索し、洋上風力発電のために設置される施設と組み合わせることによって、育成場所の問題をクリアするだけでなく、風力発電や成長した海藻を利用したバイオ燃料による再生可能エネルギー利用も加速

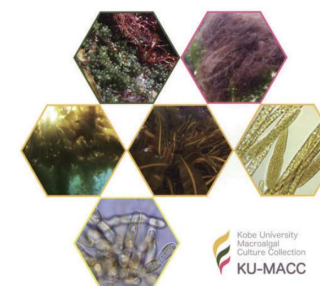


KU-MACC

神戸大学 内海域環境教育研究センター

海藻類系統株コレクション

Kobe University Research Center for Inland Seas
Kobe University Macroalgal Culture Collection



Kobe University Macroalgal Culture Collection



神戸大学×淡路市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

総合治水対策としての「水田貯留」「ため池貯留」
(農学研究科田中丸治哉教授と淡路県民局洲
本土地改良事務所などとの連携)



ため池事前放流による雨水貯留容量の
確保と洪水軽減効果の評価

田中丸治哉(水環境学)

淡路市、洲本市、南あわじ市のため池群
を対象として、営農に支障がないため池
事前放流によって確保できる雨水貯留容
量を見積もるとともに、その洪水軽減効
果を評価している。淡路市山田の寄合池
では降水量とため池水位の観測を実施
している。

認知症予防教室「60代からのeコグニケア&オンラインフィットネ
ス」(神戸大学、淡路市などとの連携)

コロナ禍での運動不足や認知症予防に♪

参加費無料!
対象者: 概ね60歳から

60代からの eコグニケア&オンラインフィットネス

ご自身のスマートフォンやパソコンなどから下記2種類の
取組に参加できます。オンラインツールの使い方は事前の
説明&体験会で丁寧に説明しますので、ご安心ください!

① eコグニケア

神戸大学発の認知症予防・健康づくりのプログラムです!
ご自身のスマートフォンやタブレットで講師と繋がり、運動
を行いながら、頭の体操を同時に行います。

【実施内容】
・2重課題運動(頭と体を使う運動など)
・健康づくりセミナー(神戸大教授のお話など)
・認知機能検査・生活習慣評価 など



② オンラインフィットネス

体力作りや参加者同士の交流を目的に、楽しく運動を継続す
るプログラムです。eコグニケアよりも強度の高い運動なの
で、体力をつけたい方におすすめです!

【実施内容】
・運動(筋トレやストレッチなど)



eコグニケアとオンラインフィットネスの詳細はこ
ちらのQRコードからHPをご覧ください♪



開催曜日や事前説明&体験会の申し込みは裏面をご覧ください

【問い合わせ】

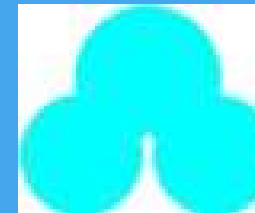
淡路市健康福祉部地域福祉課 電話 0799-64-2145 (IP:050-7105-5217)

認知症予防事業における産官学5者協
定と淡路市での本格実施
担当部署名/保健医療部健康増進課認
知症対策班 直通電話/078-362-
3188 (内線2947)

県は、県民の認知症への正しい理解や
健康づくりを促進し、県内の認知症予
防施策を一層推進することを目的に、
神戸大学が開発した認知症予防等のプ
ログラム「コグニケア(※1)」を活用
する、淡路市における認知症予防を強
化した先駆的な取組「IoTヘルスケア
推進事業(※2)」のプロセスと成果
を共有し、県内外に広く情報発信する
ため、1.神戸大学、2.淡路市、3.株式
会社三菱総合研究所、4.アトラス情報
サービス株式会社 5.県の5者による協
定を6月に締結しました。 淡路市に
おいて下記のとおり、新たな認知症予
防教室「60代からのeコグニケア&オ
ンラインフィットネス」の本格実施を
前に、説明体験会が開催されます。

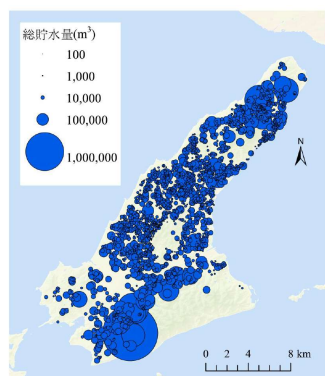


神戸大学×洲本市 地域課題への取り組み



連携拠点でのさまざまな取り組み

総合治水対策としての「水田貯留」「ため池貯留」
(農学研究科田中丸治哉教授と淡路県民局洲
本土地改良事務所などとの連携)



淡路地区
特定ため池1902
箇所の空間分布
と総貯水量
Storage of irrigation
ponds in Awaji



洲本市・三木田大池に設置された洪水吐切欠きと可動堰

兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした 医療系人材育成促進事業（地域連携公募事業）



医師不足地域の県立高校では、地域の医療を支える人材を育成することを目的として「医療系人材養成プログラム」が実施されている。地元の医療現場を訪れ、講演や見学を通して業務に触れるとともに、倫理観、コミュニケーション能力などを学び、医療系職種を目指す若者を奨励することを目指している。

神戸大学は、兵庫県教育委員会と協定書を交わしてこのプログラムと連携する形で「**兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医療系人材育成促進事業**」を行うこととなった。令和元年度に先行事業を実施したところ、関係者に好評で成果が得られたことから、令和2年度より正式事業を開始した。

洲本高校などの高校生が医学部や同附属病院の医療現場や研究室などを見学・体験することで医療・医学に対する興味と関心を喚起し、目的意識を持って医療系職種を目指す人材を育成するための諸活動を行なった。

兵庫県外での連携事業



神戸大学×大分県中津市 地域課題への取り組み



- 2016年4月22日全学連携協定締結
- （目的）中津市出身で神戸大学の礎を築いた水島鐵也先生の遺徳を顕彰するとともに、世界に開かれた視野を持ち、人間性豊かな水島校長の精神を共有し、連携して次世代を担う人材育成や地域づくりを進める

連携拠点でのさまざまな取り組み

中津市歴史博物館の運営支援



テープカットの様子



2023新中津市学校市民講座の第3回目
「中津の古代史を知る」（2024/3/30）

市内高等学校出前講義

R5年度は、中津南高等学校で、羽森茂之教授（経済学研究科）による「データサイエンスって何だろう？」と題した出前講義を実施



中津市教育委員会アーカイブズ講座

R4年度より、セミナー「文化財レスキュー・襖下張剥がし」の講義と下張剥がし実習の実施（地域連携推進本部、146千円）





神戸大学×岡山県西栗倉村 地域課題への取り組み



- 2018年1月15日 農学研究科と協定締結
- (目的) バイオエコノミーを基軸とした西栗倉村のSDGs達成を目標、地域の発展と地域活性化に必要な人材育成に寄与

連携拠点でのさまざまな取り組み

バイオエコノミーを基軸とした西栗倉村の持続可能な開発目標 (SDGs) 達成



農学研究科教員が、村内の林班毎の管理状況、生長速度を定量した。また、森林から伐り出した材の用途を調べ、村のカーボンフットプリントを測定した

岡山県英田郡西栗倉村は、岡山県と兵庫県の県境に立地する人口約 1,500 人の自治体であるが、2008 年に「**百年の森林構想**」を制定し、村が森林育成管理を担う委託事業と木材の流通加工を行う第 3 セクター設立を進め、2013 年に**環境モデル都市 (内閣府)**、2014 年に**バイオマス産業都市 (農林水産省)** に認定された。

その後、新規企業を誘致する戦略を進め、同村では 2013 年以降 28 社の新規ベンチャーが発足し、現在急速に移住者が増加しつつある。

農学研究科は、**2018 年 1 月 15 日に西栗倉村との連携・協力に関する協定を締結した**。今後、相互の人的・知的及び物的資源の活用により、**同村の持続可能な開発目標 (SDGs) を達成すること最終目標**とし、地域連携活動を推進していく。

企業との連携事業



神戸大学×神戸新聞社 地域課題への取り組み



- 2014年7月7日 **全学協定締結**
- (目的) 地域活性化への相互協力や防災意識の向上など

連携拠点でのさまざまな取組み



豊岡編

2017.9.29

神戸大学経営学部 南ゼミ

「地方が面白くなる大学ゼミツアー」での 豊岡訪問

大学ゼミの学生が、地方の企業や地方創生の取り組みに直接触れ、地域の魅力を体感し、地域の“いいところ”をレポートするバスツアー



神戸新聞創刊120周年 ひょうご神戸プラットフォーム 第4回COC+シンポジウム「五国の未来をひらく～大学知と社会知をむすぶ～」(2019年1月25日)

120 WORKPLACE KOBE (レンタルオフィス・ワーキングスペース) を活用したイノベーション



神戸大学×神戸新聞社「情報で、命を守る」アイデアソンを開催 (2023/12/9)



2025年の阪神・淡路大震災30年に向け、災害時の正確な情報提供の在り方を学生と地元メディアと一緒に考えようと企画し、サンテレビやラジオ関西も参加しました。学生とメディア関係者の混成チームで、災害時の情報発信にかかわる課題や解決策を熱心に議論しました。



神戸大学×サンテレビジョン 地域課題への取り組み



- 2021年7月2日 **全学協定締結**
- (目的) 地域再生や防災・減災などにおいて連携・協力



サインした協定書を持つ藤澤学長(左)と
サンテレビ沼田社長(右)

連携拠点でのさまざまな取り組み

震災文庫デジタルアーカイブでサンテレビジョン撮影
の映像を新たに公開しました

[Tweet](#) [LINEで送る](#)

Great Hanshin-Awaji Earthquake
Disaster Materials Collection

震災文庫



震災文庫デジタルアーカイブにて、株式会社サンテレビジョンより
提供いただいた、**阪神・淡路大震災関連映像65件**を新たに公開

これらの映像は、同社のカメラマンが被災地での取材において撮影し、震災報道の素材となった大量の映像の一部。今回公開する映像には、建物が被災した神戸市立西市民病院での患者救出の様子や、他の放送局は撮影できなかった震災当日の淡路島の被災状況など、貴重な映像が幾つも含まれている



神戸大学×ラジオ関西 地域課題への取り組み



- 2023年3月1日 **全学協定締結**
- （目的）放送を通じて大学からSDGsやカーボンニュートラル関連の研究や、地域連携プロジェクトの紹介による地域社会への貢献と発信、学生も交えた地域活性化の取組や人材育成において連携・協力

連携拠点でのさまざまな取組み

神戸大学がラジオ関西で情報発信
「神戸大学☆夢ラボ」が2023年4月からスタート



番組情報

放送日時

4月2日から毎週日曜 午前8時45分～午前9時

出演

司会：天宮 遥（神戸大学卒のピアニスト・ラジオパーソナリティ）

- 4月2日, 4月9日 藤澤正人 学長
- 4月16日, 4月23日 奥村 弘 理事
- 4月30日, 5月7日 砂原庸介 法学研究科・教授
- 5月14日, 5月21日 東 若菜 農学研究科・助教